

市民アンケート調査結果分析

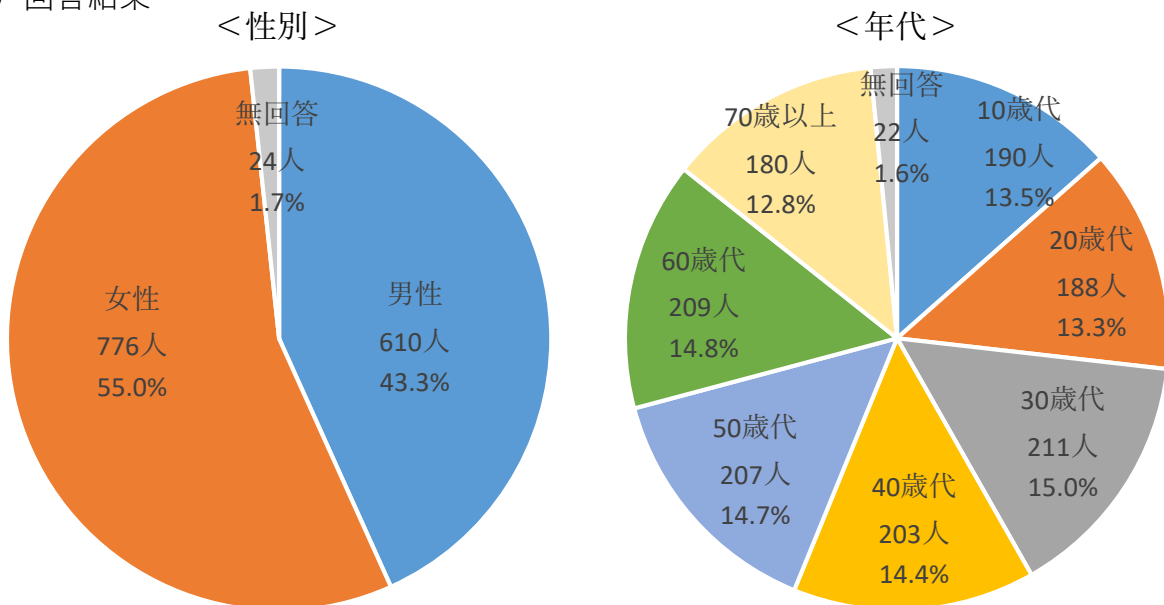
■市民アンケート調査結果分析

1 調査概要

(1) 調査の実施状況

調査対象	高校生以上の市民
調査数	4,000 件
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布回収
調査期間	平成 31 年 2 月 15 日～3 月 5 日
送達数	3,999 件
回収数	1,410 件
回答率	35.3%

(2) 回答結果



(3) 満足度、重要度の数値化

各施策項目の選択肢に得点を付け、満足度及び重要度の評価点を算出する。これによって、市民の満足度及び重要度意識を明確に捉え、分析することができる。なお、各選択肢への点数の配分は下記のとおりである。

満足度	重要度	ポイント
そう思う	重要である	+ 2
どちらかというと思う	どちらかというと重要である	+ 1
どちらかというと思わない	どちらかというと重要ではない	- 1
そう思わない	重要ではない	- 2
どちらでもない、無回答	分からない、無回答	± 0
最小値～最大値		▲ 2. 0 0～2. 0 0

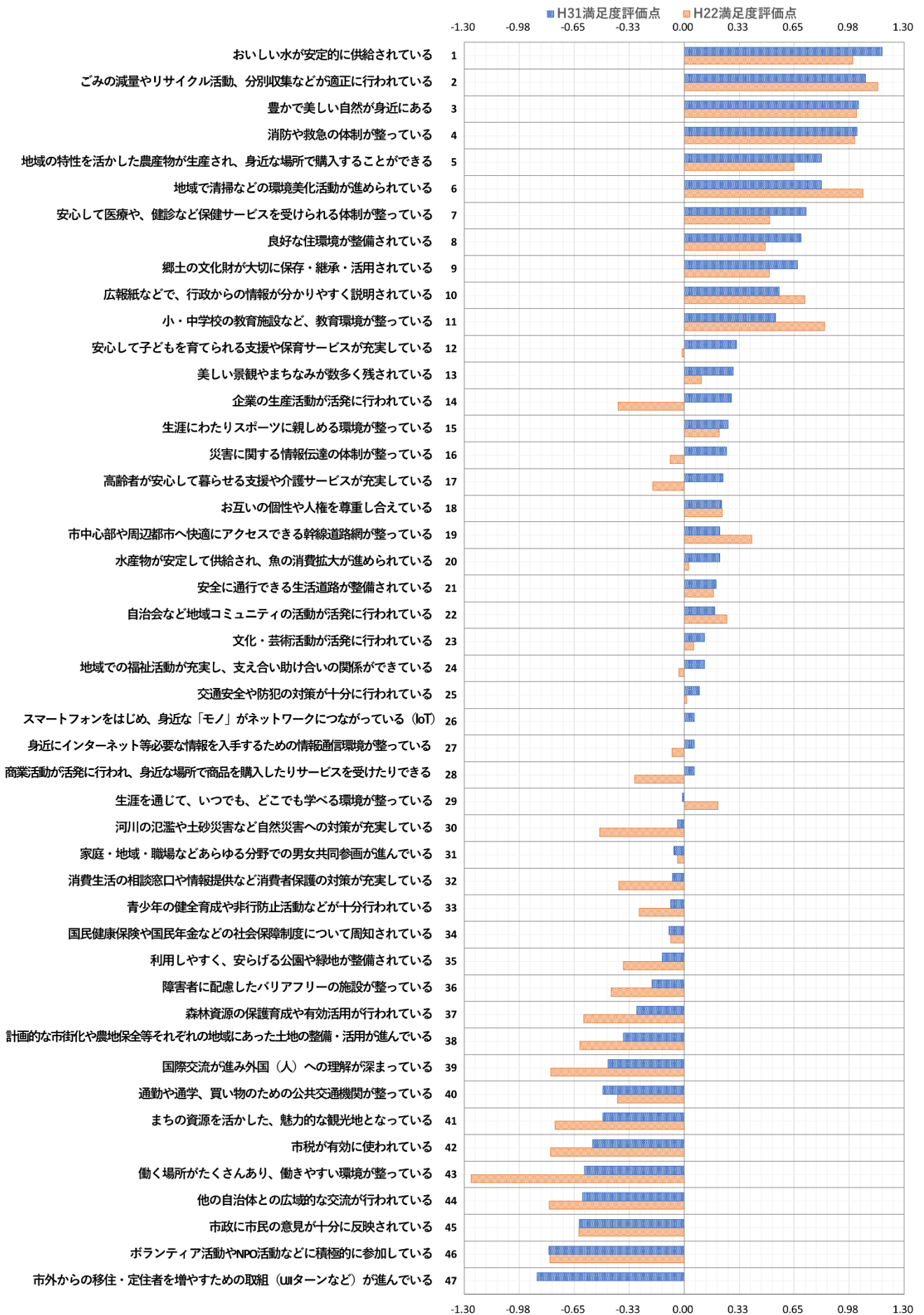
《計算式》

$$\text{満足度} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 + \text{「どちらかというと思う」} \times 1 + \text{「どちらかというと思わない」} \times (-1) + \text{「そう思わない」} \times (-2)}{\text{「どちらでもない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」} \times 2 + \text{「どちらかというと重要である」} \times 1 + \text{「どちらかというと重要ではない」} \times (-1) + \text{「重要ではない」} \times (-2)}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

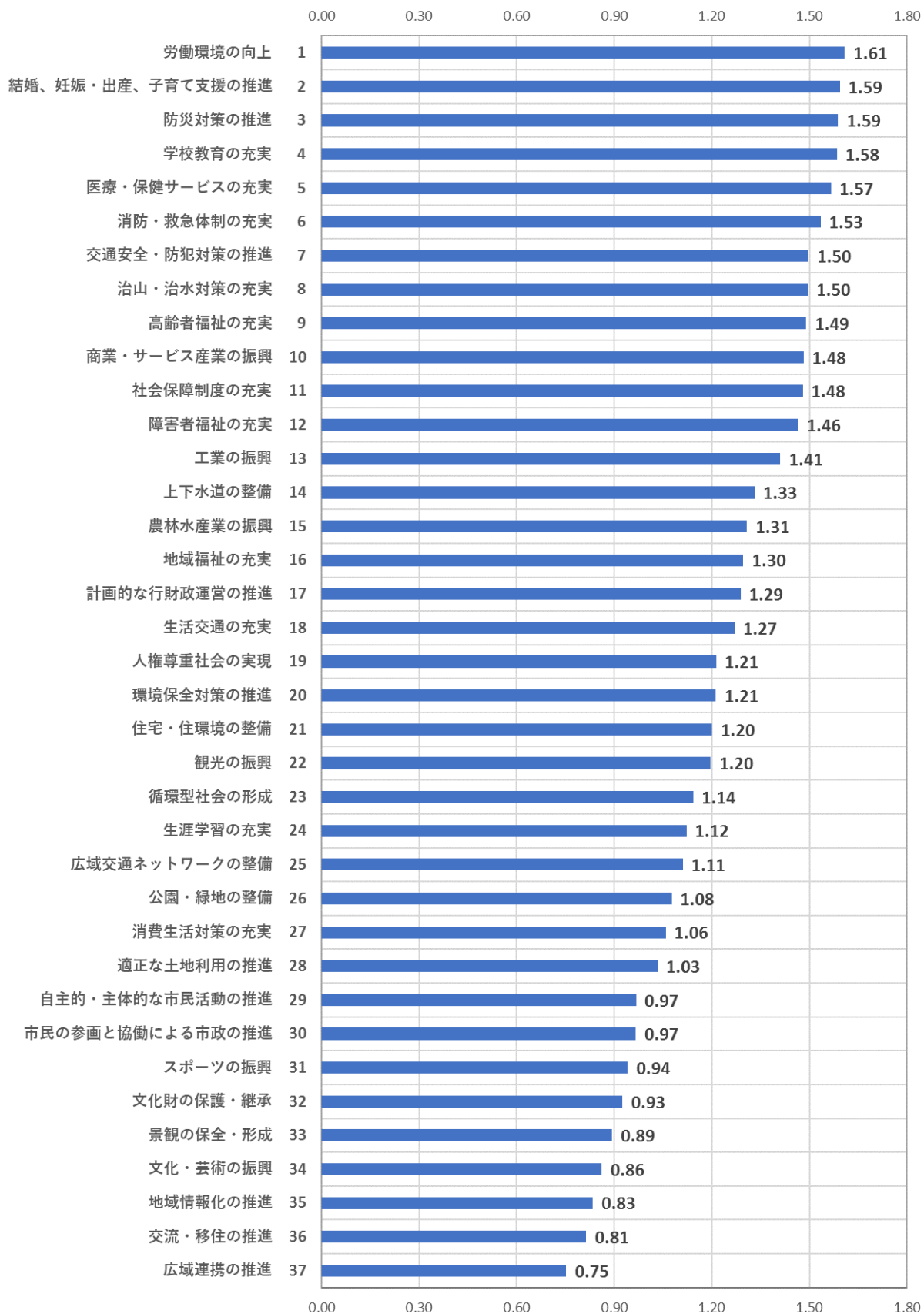
2 満足度の評価点

評価点がプラスとなったものは 28 項目、マイナスとなったものは 19 項目であった。なお、満足度の評価点は 30 以上の項目で向上している。



3 重要度の評価点

評価点は全ての項目でプラスとなっている。



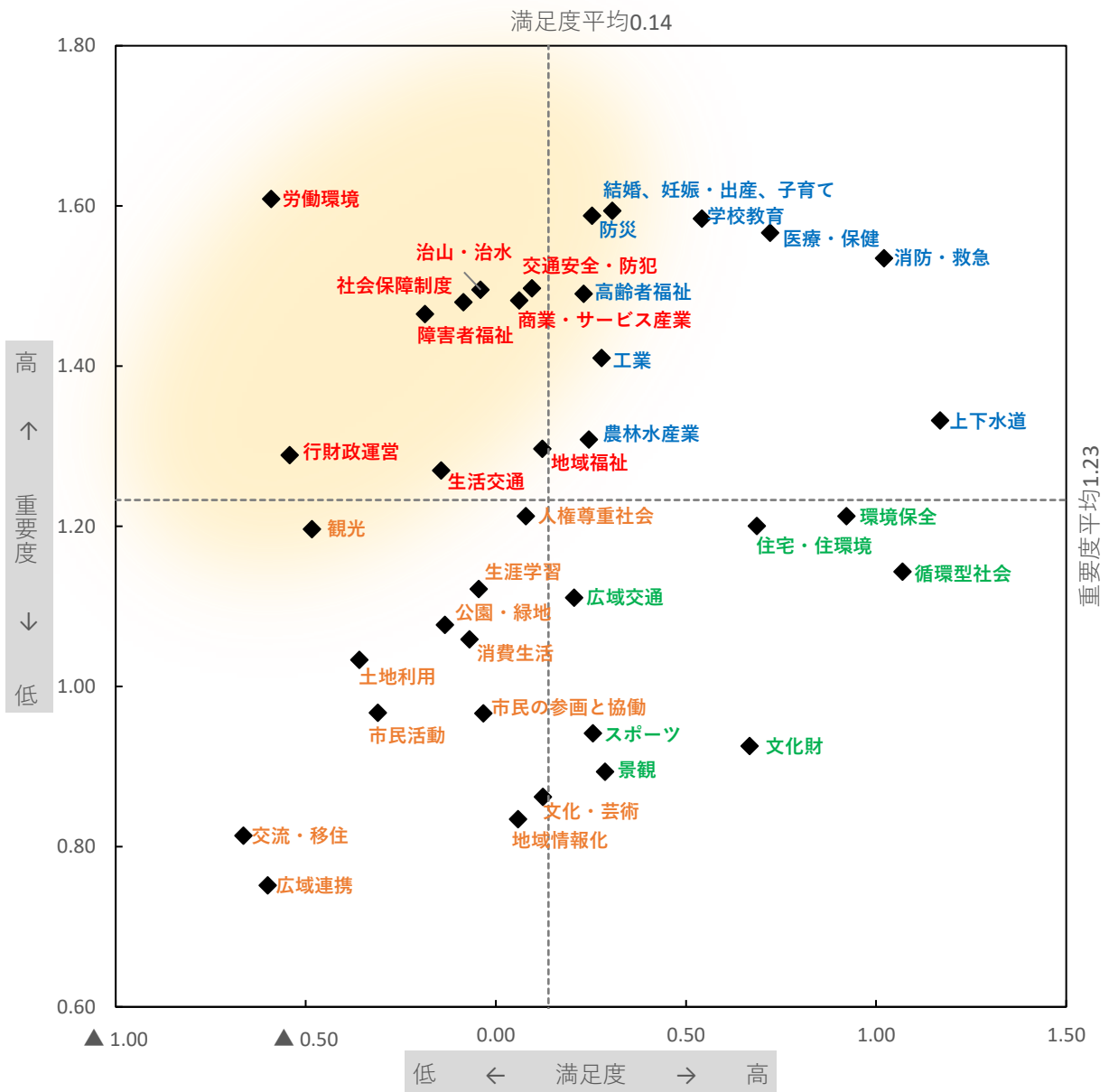
4 重要度×満足度の一覧

37項目を相対的に評価するため、重要度と満足度の評価点により次ページにてプロット図を示すが、一覧にしたものが下表である。

重要度順位	施策項目	重要度	満足度
1	労働環境の向上	1.61	▲ 0.59
2	結婚、妊娠・出産、子育て支援の推進	1.59	0.31
3	防災対策の推進	1.59	0.25
4	学校教育の充実	1.58	0.54
5	医療・保健サービスの充実	1.57	0.72
6	消防・救急体制の充実	1.53	1.02
7	交通安全・防犯対策の推進	1.50	0.09
8	治山・治水対策の充実	1.50	▲ 0.04
9	高齢者福祉の充実	1.49	0.23
10	商業・サービス産業の振興	1.48	0.06
11	社会保障制度の充実	1.48	▲ 0.09
12	障害者福祉の充実	1.46	▲ 0.19
13	工業の振興	1.41	0.28
14	上下水道の整備	1.33	1.17
15	農林水産業の振興	1.31	0.24
16	地域福祉の充実	1.30	0.12
17	計画的な行財政運営の推進	1.29	▲ 0.54
18	生活交通の充実	1.27	▲ 0.14
19	人権尊重社会の実現	1.21	0.08
20	環境保全対策の推進	1.21	0.92
21	住宅・住環境の整備	1.20	0.69
22	観光の振興	1.20	▲ 0.48
23	循環型社会の形成	1.14	1.07
24	生涯学習の充実	1.12	▲ 0.04
25	広域交通ネットワークの整備	1.11	0.21
26	公園・緑地の整備	1.08	▲ 0.13
27	消費生活対策の充実	1.06	▲ 0.07
28	適正な土地利用の推進	1.03	▲ 0.36
29	自主的・主体的な市民活動の推進	0.97	▲ 0.31
30	市民の参画と協働による市政の推進	0.97	▲ 0.03
31	スポーツの振興	0.94	0.26
32	文化財の保護・継承	0.93	0.67
33	景観の保全・形成	0.89	0.29
34	文化・芸術の振興	0.86	0.12
35	地域情報化の推進	0.83	0.06
36	交流・移住の推進	0.81	▲ 0.66
37	広域連携の推進	0.75	▲ 0.60
	平均	1.23	0.14

5 重要度×満足度のプロット図

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値（各評価点の平均値）を境として、37項目についてプロットした。重要度が高く、満足度が低い項目ほど、市民の関心が高いと考えられる。市としては、このプロット図を参考にして、国や県、民間との役割分担を踏まえながら、今後のまちづくりを検討する必要がある。



労働環境から商業や観光といった産業振興、防災や福祉といった安全・安心な暮らし、計画的な行財政運営などの項目について市民の関心が高いと考えられる。